初

**仕合わせの**

仏の教えは、私達を「さとり」の彼岸へ導いて下さる羅針盤。

**真成寺**ホームページ

編集・発行

玉蓮山　真　成　寺

編　集　部　谷川久仁子

TEL・FAX　　**0765-22-2268**



第２６４号

令和６年３．１

　 （毎月１日発行）

　　　　**世界の平和**

住職　谷川寛俊

プーチンのロシアによるウクライ

　ナ侵攻から二年となり、出口の見えない戦いが、今なお続いている。更にイスラエルによるハマスへの反撃、ガザ地区への攻撃も深みに入っている。

　平和は何故やって来ないのか？

きっと人々の生き方が、神仏の心・

誠の道にかなっていないから、神仏

の守りがないのでは？と考えさせら

れる。

　いずれの戦いも政治や国家権力の

問題だけでなく、民族の問題や、宗

教上で譲れない問題もあるように思

われれるが、罪のない子供や、一般

人を戦争によって尊い一命を奪い取

るような事は絶対あってはなりませ

ん。

　過日の新聞に次のような文面があ

った。

　　　　　

「安全地帯にいる為政者（いせいしゃ）が、戦争を始め、権力から遠い罪のない弱者ばかりが最前線で、多く犠牲になっている。」

「プーチン大統領は、我々の目的が達成されれば、平和が訪れる。」と言う。

それじゃプーチンに聞きたい。

「戦場にあなたの身内は何人いますか？」ロシアだけではない。ウクライナやイスラエルもイスラム組織、ハマスも今この時にも命が次々と奪われている。上に立つ者が、痛みや悲しみを少しでも想像すれば、きっと世界は穏やかになるのに・・・・・・。

　お題目、法華経の大信者であった詩人・童話作家の宮沢賢治（３７歳で没。私の友人、岩手県花巻市、身照寺にお墓がある）の有名な「雨にも負けず、風にも負けず・・・・・。」と歌われた

詩の最後に

**「世界ぜんたいが、幸福にならない**

**うちは　個人の幸福は有り得ない。」**

と結んでいます。

　一日も早い平和が訪れるようにお祈りするとともに、一人一人が襟を正し、神仏に褒（ほ）められるような人生を送りたいものです。

　　　　　